



6日は、台風11号の接近に伴う臨時休業となりました。幼稚園周辺では予想よりも被害がなく安心しましたが、皆さんのところは大丈夫だったでしょうか。台風一過でさわやかな天気のもと、子ども達はのびのびと遊んでいます。

祖父母公開を行いました

昨年、一昨年とコロナ渦の影響で、9月恒例の祖父母公開を中止していました。今年度は、感染症対策をしっかりと講じながら9日(金)に行うことができました。「明日、おばあちゃんが来てくれるよ」「楽しみ!」と、子ども達もウキウキでした。当日は、部屋ごとに『コマを回そう』『竹馬・缶ぼっくりに挑戦』『新聞紙で作ろう』『おはじき・あやとり・けん玉で遊ぼう』の4つのコーナーを設置し、クラスごとに(あお組は2チームに分かれて)移動して遊ぶようにしました。一緒に紙飛行機を作ったり、おはじきやあやとりで触れ合いながら遊んだり、手伝ってもらって竹馬に乗って嬉しかったり、コマの回し方を教えてもらったり……。中には、紐ごまを上手に回したり、けん玉を一回で成功させたりと、子どもの頃を思い出して楽しむ保護者の方の姿も見られました。どのコーナーでも、子ども達の笑顔と、その姿を目を細めて優しく見つめる保護者の方のまなざしが印象的でした。コーナーでの遊びが終わると、最後は子ども達から「いつもありがとう」と写真入りのプレゼントを渡しました。ご参加いただいた方から「孫の楽しそうな姿が見られ良い思い出になった」「孫の成長ぶりに感激した」「懐かしい用具が準備されており、孫と話し合いながら一緒になって楽しく遊び触れ合うことができた」などの嬉しい感想をいただきました。感染症対策のため保育公開の時間を短くしたので、ちょっと

慌ただしかったかもしれませんが、でも、和やかな雰囲気の中でおうちの人としっかり触れ合って遊んだ今日の日のことは、きっと子ども達の心に残ると思います。お出かけいただいた皆様、ありがとうございました。



生ごみ用「ぼかし」で肥料作りに挑戦しています

職員が夏の研修で「生ごみ用ぼかしづくり体験」をして、ぼかしを園に持ち帰り、再利用について職員で話し合いました。物があふれている現代、“もったいない”“物を大切にしよう”という気持ちが薄れてきているように感じます。そこで、今回の『ぼかし』を使って、みんなが食べる給食の残りを野菜作りなどを使う肥料にしようとする取り組みにしました。給食の残りを新聞紙の上に広げて30分天日干しし、バケツの中に給食の残りとおぼかしを交互に入れていきます。『ぼかし』を入れるのは年長児の係。それを不思議そうに見つめる年中児と年少児。「ぼく達が食べたものが土の栄養になるなんて、魔法の粉だね」「少し臭くなってきたよ」(発酵の力を利用しているので、日に日に匂いが強くなるのです)と言いながら、丁寧に『ぼかし』を入れていました。このように、自分達の身近なところで、自分達にもできる“もったいない”を考えていきたいと思えます。



切り絵を寄贈していただいています

一昨年からご縁があって、年長児の卒園式に渡す修了証書に名前などを書く『揮ごう』を、平田在住の高橋光彰さんをお願いしています。出来上がって持ってきていただいた時に子ども達に「こんな素敵な字を書いてもらったよ」と見せると、「高橋さんにお礼がしたい」と言い、お礼の言葉と自分の顔を書いた一枚のお礼状を作って高橋さんに「ありがとう」と渡しました。高橋さんも子ども達の気持ちを喜んで受け止めてくださいました。その後、ご自分で絵を描き、それを切り絵にされた素敵な絵をいくつもいただいています。今年の干支の『虎』にはコロナ退散の願いを込めて、つい最近『秋の七草』を描いた作品をいただきました。春の七草はみなさんもよくご存じだと思いますが、秋の七草、全部言えますか?

『秋の七草』の作品は、始業式の時の子ども達に見せて紹介しました。高橋さんにいただいた作品は、幼稚園の玄関に飾ってありますので、またご覧になってください。地域の方々との素敵なご縁を、これからも大切にしていきたいと思えます。

